

育英学院同窓会財政改善策とその経過報告

1999年5月に発表した財政改善策を基に実施した実績並びに今後の見通しについて。

- [1] 高専35期卒業生より、卒業時の「同窓会入会金」を10,000円から12,000円に値上げする
- [2] 年会費納入の願いをさらに徹底する
- [3] 年2回(春と秋)のニュースのうち春号は年会費を既納している会員に限る
- [4] 総会開催を隔年とする
- [5] 年会費の納入状況を改善するために「銀行振込方式」を引き続いて検討する
- [6] 名簿改定時期を3年から5年に延長

1. 同窓会の財政推移(1996年～2004年)と今後の見通し(2005年)

単位=千円

卒期	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
卒業生数	205	222	170	192	191	193	197	190	126	150
年 度	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
同窓会入会金	2,050	2,220	1,700	1,920	1,910	2,256	2,364	2,316	1,512	1,800
会 費	200	242	624	621	339	721	570	1,326	100	500
寄 付 金	50	50	30	30	10	30	227	20	80	31
その他収入	115	52	811	279	71	54	37	515	1,650	50
前年度繰越金	7,437	6,550	4,815	4,441	3,023	3,099	3,831	5,079	5,025	4,111
収入合計 A	9,852	9,114	7,980	7,291	5,353	6,160	7,029	9,256	8,367	6,442
活 動 費	2,465	3,592	3,039	3,809	1,564	1,772	1,372	3,861	3,798	1,967
運 営 費	837	707	500	459	690	557	578	370	456	850
支出合計 B	3,302	4,299	3,539	4,268	2,254	2,329	1,950	4,231	4,254	2,817
繰越金 A-B	6,550	4,815	4,441	3,023	3,099	3,831	5,079	5,025	4,113	3,625

改善策を講じなかった場合→ -1,691

* 1995年以来問題視され始めた繰越金の減少に伴う、同窓会の財政問題について、1999年より常任理事会、理事会会で検討を重ねて実施してきました施策に対し、1999年より2003年迄の推移を見る限りその効果は現れてきております。

2003年度は、名簿の改定費用等で大きな費用を必要とする期にあたりましたが、結果として繰越金も2002年度と同等の金額を計上する事ができました。2004年度の卒業生は120人台に減少するためかなり厳しい財政運用となりますが、何とか400万円を確保することが出来ました。今後は、新会長の下で、引き続き会費納入の推進を図り、現在の財政改善策を継続して頂く事により繰越金を増加させていくことが可能と考えます。

会長就任以来、財政改善一筋に[1]～[6]の施策を会員諸氏のご理解により推進してまいりましたが、おかげさまで活動に必要な最低限の財源を維持して行く見通しを立てることが出来ました。一緒に推進して頂いた役員の皆様にも感謝とお礼を申し上げます。